

第一回 国語科問題

[一] (一) a、bにふさわしいことばをつぎの中から選び、記号で書きなさい。

- 1 焼かれる 2 動く 3 冷える 4 止まる 5 静まる

(二) () 1、4にふさわしいことばをつぎの中から選び、記号で書きなさい。

- ア すくいあげる イ ひきつった ウ 雨あがりの葉っぱ エ 幼稚園児

(三) — 線Aとありますが、それはなぜですか。この時の野々歩の気持ちを考えて書きなさい。

(四) ^ あゝえに入るふさわしい一文をつぎの中から選び、番号で書きなさい。

- 1 感情はふりこみたいに両極端にゆれていた。
2 最近の野々歩は人の視線に敏感だ。
3 しがみつきたい衝動を足に力をこめて必死にこらえた。
4 自分でもびっくりするくらいいきつい声が出た。

(五) ~ 線Bとありますが、そう思ったのはなぜですか。子どもたちの様子から書きなさい。

(六) C にふさわしいことばを考えて書きなさい。

(七) || 線D₁、D₃とありますが、野々歩と母親がどのように変化したのか書きなさい。

(八) - 線Eとありますが、野々歩はなぜそう思ったのですか。最もふさわしいものを二つ選び、記号で書きなさい。

- ア 自然の厳しさですら子どもは楽しむ材料にするが、友だちを大事にする自分はその中に入れず恥ずかしく思ったから。
イ 保育士が子どもをありのままに受け入れているのを見て、自分が学校でがんばってきたことが無駄になったと思ったから。
ウ 子どもが自由に選択する様子を見て、今までこうしなきゃと思い込んでいたことに意味がなかったと気づかされたから。
エ 予測できない自然の変化に対応していく子どもを見ると、自分の学校生活がいかに恵まれているのか分かったから。
オ 子どもが森で起こるどんなことも大らかに受けとめ輝いているのを見て、今までの自分自身が小さく感じられたから。

(九) — ①、⑤を漢字に直し、必要なら送りがなを書きなさい。

(十) ~ 線Fとありますが、なぜそう思っているのですか。野々歩がコロボックルでの生活から学び、成長したことを文章全体から考えて自分のことばで書きなさい。

[二] (一) Aに入るふさわしい二字の熟語を考えて書きなさい。

(二) B に入るふさわしい表現をつぎの中から選び、番号で書きなさい。

- 1 穴をふさいで 2 森を育てて 3 壁をくずして 4 海を泳いで 5 里を訪ねて

(三) (C) にふさわしいことばをつぎの中から選び、記号で書きなさい。

- ア 無意味 イ 無反応 ウ 無差別 エ 無計画

(四) || 線Dとありますが、これと同じ内容を説明した最もふさわしい一文を探し、はじめの五字を書きなさい。

(五) 「言霊力」について、筆者の伝えたいことをつぎのようにまとめました。 ①、⑦に入る最もふさわしいことばを文中からその字数で探して書きなさい。

言葉は① (2字) として残り、人の命を超えていく。言葉は私たちの魂に影響を与えて② (2字) を作りあげる。かつての③ (4字) は失われつつあるが、好きな言葉を④ (7字) ことで自分の身近に感じることができ、優れた言葉は古びることがない。良い言葉を⑤ (2字) し、積極的に言葉に親しむことで自分の考え方にも⑥ (2字) が生まれる。そのうえで世界を肯定的にながめ、⑦ (4字) を持たせるものが、現代の言霊力なのである。